

岩波駅周辺地区 まちづくりニュース

裾野市 建設部 ウーブン・シティ周辺整備課

[電話]055-994-9010

事業については裾野市公式ウェブサイトでご覧いただけます

岩波駅周辺地区



[配布先] 深良、富岡、須山地区

●令和4年度 第5回ワークショップ（12月11日開催）の結果概要

12月11日（日）に、令和4年度 第5回目となるワークショップを開催しました。今回は、前年度から行っているワークショップで参加者の皆様からいただいたご意見を反映した現時点での「岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）」の紹介及び「自分たちができる（取り組みたい）岩波のまちづくりを考えよう」としてグループワークを行いました。



▲岩波駅周辺まちづくりデザインノート(案)の紹介の様子

① 岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）の紹介

前年度から行っているワークショップでは、参加者の皆様から、未来の岩波駅周辺について、さまざまご意見やアイデアをいただきました。市では、それらを踏まえながら、岩波駅周辺のまちづくりについて検討を進めており、現時点での「岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）」の紹介を行いました。



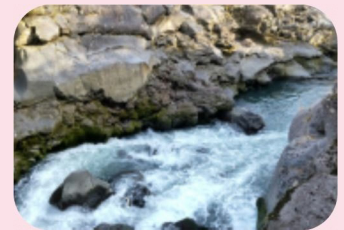
岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）の紹介内容

○作成目的

岩波駅周辺地区が目指すべきまちの姿の実現に向けて、施設整備の設計方針や空間の使い方を含めた、全体のデザインの方向性を示していくことを目的としています。

○主な記載内容

行政や事業者、市民といった関係者がデザインの方向性の内容を共有し、協働したまちづくりを進めていくための考え方（日常的な機能・利便性を考慮するなど）を記述していきます。また、まちづくりを進めるなかで、様々な変化に対応しながらも、岩波駅周辺のまちづくりの本質（人が主役のまちづくりなど）に立ち戻ることができる指針として、関係者に広く示していきます。



▲自然景観の一例
(黄瀬川、蛍の生息地など)



▲歴史の一例(富士山と田園風景、水景施設のある風景など)

○大切にすること

ワークショップの参加者の方からも「岩波のよいところ」として挙げていただいた地域資源である自然景観や歴史といったものを活用し、「岩波らしい空間づくり」に取り組みます。

② 自分たちができる（取り組みたい）岩波のまちづくりを考えよう

これまでのワークショップでは、岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）の策定に向けて、主に施設整備に関わることについてご意見をいただきました。

今回からのワークショップでは、今年度の第1回ワークショップで共有した岩波のイメージをより良くしていくために、「自分たちができる（取り組みたい）活動」を考えていただくグループワークをスタートしました。当日は、市役所正面駐車場で軽トラ市が開催されていたこともあり、来訪者と出店者の交流や賑わう会場の様子が間近で見ることができ、岩波のまちづくりでもこのような取り組みができるのではないかと、参加者の方からの意見もありました。



▲軽トラ市の様子（市役所正面駐車場）

③ 岩波駅周辺地区まちづくり推進会議の紹介

市では、岩波駅周辺のまちづくりを推進するにあたり、広く有識者等の意見を反映させるため、岩波駅周辺地区まちづくり推進会議を設置しています。この会議では、岩波駅周辺地区まちづくりワークショップでいただいた参加者の意見を紹介し、地域が考える岩波駅周辺のまちづくりを共有しています。そして今回のワークショップでも紹介しました岩波駅周辺まちづくりデザインノート（案）について、施設の配置や規模、機能、デザイン、空間利用や利便性など様々な視点から検討を重ねています。

第1回目を令和4年6月、第2回目を令和4年12月に開催しました。第3回目は、令和5年3月に開催を予定しています。



▲ 第1回岩波駅周辺地区まちづくり推進会議の様子

い わ な み 情報

まちづくりニュース N0.7 でもご紹介した黄瀬川ですが、川の中の溶岩に円形の穴が見られることをご存知ですか。この穴は、黄瀬川の水流によって浸食されてくぼみになった場所に小石が入り、小石が回転して広がってできたもので、ポットホールと呼ばれています。岩の表情からも黄瀬川の歴史を感じることができますね。富士見橋からも見ることができますので、ぜひ探してみてください。

